

科目名	人間と美術			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2	
担当教員	渡邊 晃一			
内容および計画	美術の「感動」は日常生活における様々な「ものの見方」とも関連している。本講義では現代における美術が人間に果たす役割を紹介する。 「美術」「藝術」「A r t」とは何か。今日の「美術」について、様々なトピックから紹介していく。 地域（福島）の衣食住文化と現代アートとの関係、人間の発達段階（幼年教育や生涯学習、アール・ブリュット）、美術館や美術学校などの制度、身体表現や認識を変貌させたメディア表現（写真、映画、アニメーション、マンガなど）との関わりから提示する。			
1	「美術」「藝術」とは何か			
2	衣・食・住とアート			
3	アートの歴史・近代と現代			
4	幼児の発達段階と「表現」			
5	映像メディア（視覚・聴覚・言語）			
6	写真と映画の誕生			
7	漫画とアニメーション			
8	身体動きと行為（アクション）			
9	抽象画の見方			
10	芸術を通しての教育			
11	芸術療法とアール・ブリュット			
12	都市・場とアートとの関わり			
13	生きている美術館			
14	現代美術の展望			
15	「文化」と「文明」			
教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『モナ・リザ』の教科書	渡邊 晃一	日本文教出版	9784536600651	2021
アート＆デザイン、幼児教育、衣食住の「文化」に関わる人に是非、修得してほしいトピックを取り入れています。				
参考書				
成績評価				
評価方法				割合(%)
1、 毎回の授業内の成果からの総合的評価				60
2、レポート ?(4 回)				40
授業内容をより深く理解するため、教科書からの予習、復習を行なうこと。				
学習到達目標	1. 授業内容に知的関心をもって、意欲的に取り組むことができる。 2. 芸術諸活動に興味関心を持つことができる。			

	3. 論理的に自身の考えをまとめ、計画的に創意工夫することができる。
先修条件	
実務経験	教員の実務経験をもとに、アート&デザイン、幼児教育、衣食住の「文化」に関わる人に是非、修得してほしいトピックを取り入れています。
その他	